

次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会でいただいた御意見の概要

1 会の名称

岩手県森林審議会

2 県側出席者

農林水産部

政策地域部政策推進室

3 開催日時

平成30年10月19日（金）14:30～16:00

4 主な御意見の概要

○幸福について

- ・ 幸福や復興の継続、SDGsといった理念が盛り込まれているが、それらが施策と適合しているか。新たに「参画」が8つの取組を支えるものとして加わったが、かえって分かりづらくなっていないか。SDGsは理念だけでなく、指標とどうリンクさせていくかが大事ではないか。
- ・ どのような状態になれば、幸福が守り育てられたことになるのか、ゴールのイメージが必要ではないか。
- ・ 幸福を基礎とする計画を進めていく上で、持続可能性が大事であり、林業は大きな役割を果たすものとする。
- ・ 幸福は基礎自治体である市町村長の責務。そういう意味で、今回の計画は、市町村がんばれというメッセージであるべき。気象変動や国際化、情報化といった大きな変化の中で、市町村をもっと後押ししてほしい。

○森林分野について

- ・ 健康・余暇や教育、子育て分野に森林の役割が盛り込まれていない。岩手の豊富な森林が幸福の源だという理念が分かるように書くべき。
- ・ 地域プロジェクト（県北、沿岸など）の中に、その地域における林業振興の視点を入れてはどうか。
- ・ セルロースナノファイバーや病虫害防除の新たな取組など、もう少し技術開発の視点に厚みを持たせるべき。